

全ての子どもが輝くために



奈良県の 特別支援教育



- 1 特別支援教育とは
- 2 特別支援学校・学級の在籍者数の推移
- 3 特別支援学校・学級、通級指導教室の設置状況
- 4 全ての子どもが分かる授業を目指して
- 5 特別支援教育体制づくりを進めています
- 6 子どもを中心に据えた就学・進路指導
- 7 地域に根ざしたネットワークづくり

特別支援教育を一層推進するためのキーワードは「地域に根ざした教育」です。

本人・保護者、園・学校、地域の各機関が、様々な情報を共有するために、このリーフレットを作成しました。

1 特別支援教育とは

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。



目指す方向

障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる

共生社会

指導対象

発達障害を含む、障害のある全ての幼児児童生徒

実施する学校

特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する

全ての学校

幼稚園(保育所)等

小学校・中学校

特別支援学級

- ◇弱視
- ◇難聴
- ◇肢体不自由
- ◇病弱・身体虚弱
(院内学級)
- ◇知的障害
- ◇自閉症・情緒障害

通級指導教室

☆難聴 ☆言語 ☆LD等

通常の学級

LD・ADHD等の教育

高等学校

交流及び 共同学習

障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒が、共に学び合う機会を大切にしています。

特別支援学校

- 県立盲学校 (視覚障害教育)
- 県立ろう学校 (聴覚障害教育)
- 県立奈良養護学校
(肢体不自由教育部門)
(病弱教育部門)
県立奈良養護学校整肢園分校
- 県立明日香養護学校
(肢体不自由教育)
- 県立奈良東養護学校
(病弱教育部門)
(知的障害教育部門)
(高等養護部門)
- 県立奈良西養護学校
- 県立二階堂養護学校
- 県立西和養護学校
- 県立大淀養護学校
- 県立高等養護学校

【訪問教育】

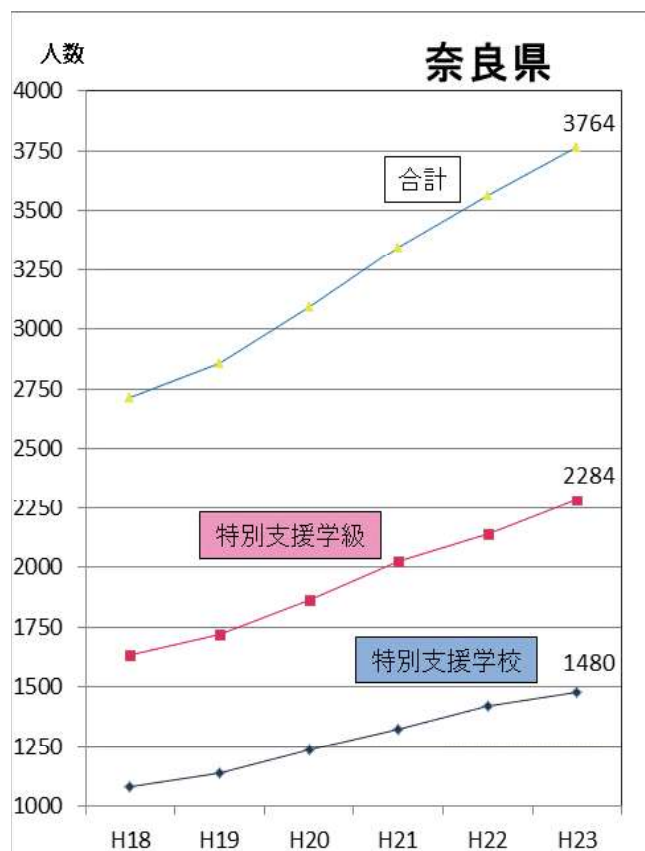
〈施設訪問…奈良養護学校×在宅訪問…明日香養護学校〉

重度重複障害があり、学校での生活が著しく困難な児童生徒を対象に、教員が家庭又は医療機関等を訪問して行う教育です。



2 特別支援学校・学級の在籍者数の推移

特別支援学校・学級に在籍する幼児児童生徒数の推移

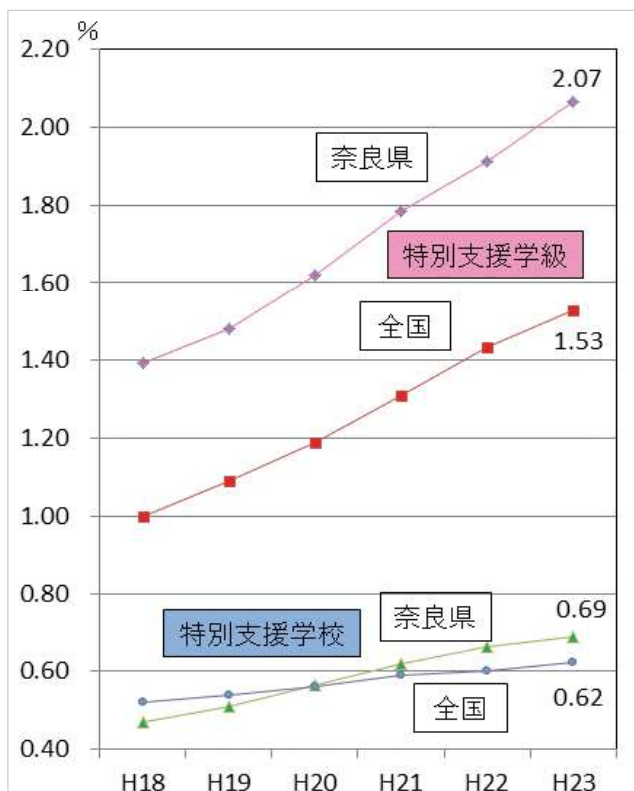


特別支援学校の小・中学部や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の割合も、年々増加していることがわかります。

特別支援学校に在籍する者の割合は、平成20年度を境に、奈良県は全国平均を上回っています。

奈良県全体の子どもの人数は減少しています。しかし、特別支援学校及び特別支援学級に在籍する幼児児童生徒数は、年々増加しています。このことは、全国も奈良県も同じ傾向にあります。

特別支援学校・学級に在籍する児童生徒の割合 ※



※ 義務教育段階の諸学校のうち、特別支援学校の小・中学部及び小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合（ここでは、国・私立を除いています）

適切な指導と必要な支援 について

例えば、読み書きが苦手な子どもがいます。

読むときには、振り仮名を振るのか、代わりに読むのか・・・

書くときには、マス目を大きくするのか、書く量を調整するのか・・・

どちらが適切か、あるいは、どちらも必要か。



子どもの可能性を最大限に伸ばすことを目指すのが特別支援教育です。

3 特別支援学校・学級、通級指導教室の設置状況

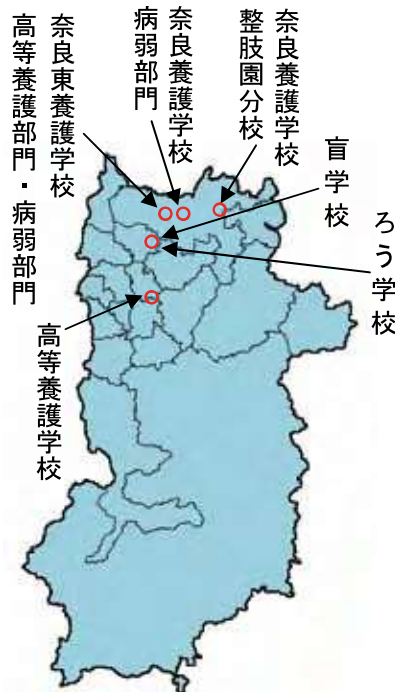
知的障害特別支援学校の通学区域



肢体不自由特別支援学校の通学区域



県内全域を
通学区域とする学校



特別支援学級

障害があるために通常の学級や通級指導教室での授業において、十分な効果を上げることが困難な児童生徒のために編制された学級です。

県内全公立小中学校 311 校の 95.2%にあたる 296 校に特別支援学級が設置されています〔内訳：小 98.1%、中 89.5%：H24.5月現在〕。(全国平均は 73.7%：H23 年度)

入院中も学習が継続できるよう、下記の病院には院内学級が設置されています。

市町村	設置病院	学 校
奈良市	県立奈良病院	伏見南小学校
天理市	天理よろず相談所病院	山の辺小学校、北中学校
橿原市	県立医科大学附属病院	今井小学校、大成中学校
五條市	県立五條病院	野原小学校
三郷町	県立三室病院	三郷北小学校

通級指導教室

通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、子どもの教育的ニーズに応じた特別な指導を週 1～8 単位時間、特別な指導の場で行います。

詳細は市町村教育委員会まで

市町村	学校名	種別
奈良市	椿井小学校	難聴
	済美小学校	言語
	あやめ池小学校	言語
	鳥見小学校	言語 LD等
大和高田市	高田小学校	LD等
大和郡山市	郡山北小学校	言語
天理市	丹波市小学校	LD等
	前栽小学校	LD等
橿原市	畝傍南小学校	言語
生駒市	生駒小学校	言語
	生駒小学校（エル）	LD等
香芝市	下田小学校	言語
		LD等
葛城市	新庄中学校	LD等
宇陀市	榛原小学校	言語・LD等
平群町	平群東小学校	言語
田原本町	田原本小学校	LD等

地域における特別支援教育のセンター的役割とは・・・

特別支援学校は、その専門的な知識や技能を生かし、地域の幼稚園や学校に助言・援助を行うという、特別支援教育のセンターとしての役割をもっています。特別支援学級や通級指導教室も、通常の学級において支援を必要とする児童生徒に対し、同様の役割を担っています。

4 全ての子どもが分かる授業を目指して～各園・学校の取組例～

幼稚園では

○集団での育ちを大切にするために

話し合いタイムで「ともだちのいいところさがし」をしています。集団での育ちを大切にするためには、自分やともだちのいいところから気付くことから始めます。「ともだちと一緒に楽しいな」そんな気持ちの芽生えにつながります。



通常の学級では

○有効な支援で、 どの子にも分かる授業に

支援が必要な子にとって「分かりやすい授業」は、どの子にとっても「分かりやすい授業」です。

例えば、授業の流れを掲示して見通しをもてるようにしたり、マス目の大きさの違う作文用紙を何種類か準備したりします。また、場合によってはチームティーチングの学習形態をとったり、支援員が個別に支援したりして学習効果をあげることもあります。

特別支援学級では

○子どもの実態に応じた学習



教科書を使った学習だけでなく、体験を通じて社会性を身に付ける実践的な学習をしています。買い物学習や制作などを通して生活に必要な力を身に付けることを目指しています。

また、子どもの実態に応じて、通常の学級と交流及び共同学習を行っています。

通級指導教室では

○自信をもって学校生活を送るために

「言語」の通級指導教室では、不明瞭な発音や、言い間違いが多い子に、発音の練習をしています。

「LD等」の通級指導教室では、読み書きや感情のコントロールのためのトレーニングを行っています。

自尊感情を高められるよう、通常の学級の担任と通級指導教室の指導者は、常に連携しています。

特別支援学校では

○課題別学習グループを編成し、授業を展開

「個別の指導計画」に基づいた個々の目標を達成するため、授業毎に学年の枠を超えてグループを編成し、学習を進めています。

また、幼稚園から高等部までのそれぞれの時期に必要な「キャリア教育」の視点を取り入れ、授業づくりを行っています。高等部では、学ぶことを中心とした生活から、働くことや社会参加を中心とした生活への移行を目指し、産業現場や事業所等における実習を積極的に実施しています。

高等学校では

○始まった「個別の指導計画」「教育支援計画」の作成

特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに対応していくために「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成が始まっています。生徒の障害による特性を理解したり、実態把握を丁寧に行ったりしながら、どのような支援が必要なのかを教職員間で共通理解していくことが必要です。



5 特別支援教育体制づくりを進めています

特別支援教育は、全ての幼稚園（保育所）・学校で行います。

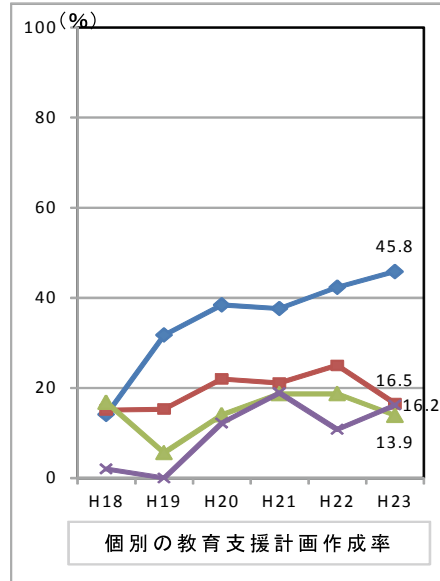
個人の力量だけに頼らない組織づくりや体制づくりを進めましょう！

まずは 校内支援体制

子ども理解のための授業研究や校内委員会の設置を進めています。

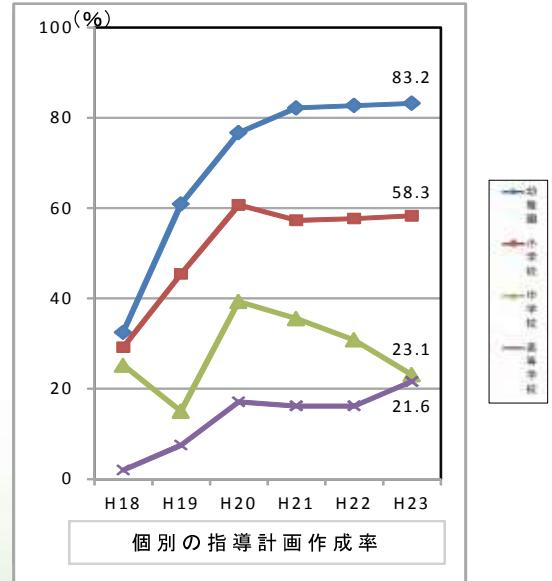
保護者と教職員のパートナーシップ、教職員のチームワークが大切です。

そのためのキーパーソンとして、**特別支援教育コーディネーター**がいます。また、**特別支援教育支援員**が配置されている学校もあります。



※小学校と中学校は通常の学級における作成率

個別の教育支援計画



※小学校と中学校は通常の学級における作成率

個別の指導計画

次に 学校間連携

幼稚園（保育所）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の校種間連携に加えて、近くの幼稚園（保育所）間、小学校間などでの連携を進めています。

そのために特別支援学校には、**特別支援教育コーディネーター指導者**がいます。各市町村には（市3人、町2人、村1人）、**特別支援教育コーディネーターリーダー**がいます。

長期的な視点に立ち、乳幼児期から高校卒業後まで一貫した教育的支援を行うための計画です。将来を見据えて考えることで、自立と社会参加に向けて支援の在り方を考えることができます。

日々の指導の具体的な計画を立てることで、校内の共通理解が深まり、どのような指導や支援が有効であるか分かります。

学校間・地域/機関連携のツールとして有効

児童福祉法の改正に伴い、平成24年4月より事業所等では「障害児支援利用計画」等の作成が義務化されました。「障害児支援利用計画」等と「個別の教育支援計画」等との相乗的な効果が得られるよう、事業所等の管理責任者と教職員が連携し、保護者の理解を得つつ相互に情報を提供し、必要な配慮を行うことが望まれています。

さらに 地域/機関連携

学校間連携を進めるためには、市町村教育委員会によるバックアップが重要な役割を果たします。さらに各市町村教育委員会が連携することにより、近隣地域全体で支援体制の充実を図ることができます。そのために、県内を6つの地域(左図)に分けて、**ブロック別連携協議会**による支援体制づくりを進めています。

ブロック別連携協議会

特別支援教育のセンター的役割

特別支援学校が各ブロックを担当しています。

特別支援教育巡回アドバイザー

各ブロック内の学校を巡回し、支援するとともに、地域連携・機関連携のパイプ役を果たしています。

ブロック	市町村名	各市町村・各ブロックへの支援 各ブロックを担当する 特別支援学校	巡回 指導	公立高校		
1	奈良市	盲学校 ろう学校	3人の特別支援教育巡回アドバイザーが各ブロックごとに巡回しています。	各ブロックごとに 行われる研修等に参加・各ブロック担当の特別支援学校との連携を進めています。	奈良朱雀、奈良西の京、平城、高円	
	大和郡山市	奈良養護学校			奈良美ヶ丘、山辺郡山、大和中央	
2	天理市	奈良東養護学校			山添分校	奈良情報商業
	川西町	奈良西養護学校			桜井	桜井
3	三宅町	二階堂養護学校			大宇陀	大宇陀
	田原本町	明日香養護学校			様生昇陽	様生昇陽
4	桜井市	盲学校 ろう学校	生駒	生駒		
	宇陀市	二階堂養護学校	奈良北	奈良北		
5	山添村	明日香養護学校	法隆寺国際	法隆寺国際		
	曾爾村	明日香養護学校	西和養護学校	西和清陵		
6	御杖村	盲学校 ろう学校	王寺工業	王寺工業		
	生駒市	盲学校 ろう学校	大和広陵	大和広陵		
7	三郷町	奈良養護学校	香芝	香芝		
	斑鳩町	奈良西養護学校	高田	高田		
8	空堀町	西和養護学校	高田商業	高田商業		
	大和郡高市町	盲学校 ろう学校				
9	高取町	盲学校 ろう学校	榑原	榑原		
	明日香村	明日香養護学校	高取国際	高取国際		
10	上北山村	大淀養護学校				
	川上村					
11	東吉野村		御所実業	御所実業		
	五條市		青森	青森		
12	御所市		大淀	大淀		
	吉野町		吉野	吉野		
13	大淀町		吉野	吉野		
	下市町		大淀	大淀		
14	高尾村		大淀	大淀		
	天川村		大淀	大淀		
15	野泊川村		大淀	大淀		
	十津川		大淀	大淀		

7 地域に根ざしたネットワークづくり

特別支援教育を推進するためのキーワードは「地域に根ざした教育」です。地域のネットワークづくりを進めることが、子どもたちの未来を支えることにつながります。

「適切な指導」と「必要な支援」を途切れなく行うために、子ども一人一人の**個別の教育支援計画**を作成し、地域ぐるみの支援体制を充実させることが重要です。子どもの「今」だけでなく「未来」を見据えて、あなたの「地域/機関ネットワーク表」を作ってみませんか。

市町村によっては、連携先一覧を作成しているところがありますので、奈良県立教育研究所特別支援教育部のWeb ページ <http://www.nps.ed.jp/nara-c/tokubetsu/> を御参照ください。

障害者基本法 第一章 第三条の二

全て障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと。
(平成 23 年 8 月 5 日改正)

特別支援教育 地域/機関 ネットワーク表 (例)

A 学校 (通級指導教室) 074△-△△

B 市障害福祉課 074△-△△-××

民生児童委員 074△-△△-××

C 医科大学病院 (小児科) 074△-△△-××



B 市教育委員会 074△-△△-△△

B 市保健センター 074△-△△-××

デイサービス 074△-△△-××

D 水泳教室 074△-△△-××

マイ

特別支援教育 地域/機関 ネットワーク表

学校

担当者

市町村教育委員会

担当者

医療

科 担当医

保健・福祉

担当者

()

担当者



()

担当者

()

担当者

()

担当者

()

担当者

()

担当者

奈良県教育委員会事務局学校教育課

〒630-8502 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-22-1101 (代表)

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-24015.htm